

平成 19 年度 農業農村工学会 資源循環研究部会 講演会・研究発表会の開催

(社)地域資源循環技術センターが事務局を努める(社)農業農村工学会 資源循環研究部会の講演会・研究発表会が平成 19 年 10 月 26 日、東京ビッグサイトで開催されました。本会は、農村における水の循環やバイオマスの利活用にかかる技術の研究・開発の推進、部会員間の学術交流を目的に開催されるもので、今年で第 5 回となります。本年度は、「水・バイオマス資源の循環技術の展開」をテーマに、講演会、技術発表、研究発表と盛りだくさんの内容で行われました。

講演会は、増島博 東京農業大学客員教授による基調講演「資源循環と日本農業」が行われ、バイオマスの利活用について堆肥やメタン発酵後の消化液を農地に施用する場合の留意点等について、さまざまな研究成果を基に発表されました。また S.R.A、「風のがっこう」代表 ケンジ・ステファン・スズキ先生より「デンマークの食料とエネルギー自給率に貢献するバイオガスプラント」と題しまして、環境先進国と言われるデンマークでのバイオガスプラントの普及経過について、政策、技術、財政のさまざまな視点から紹介されました。



増島博名誉教授基調講演



ケンジ・ステファン・スズキ先生講演

次に、技術報告が行われ、民間企業の方より水処理やバイオマスに関する最新の技術開発の成果が報告されました。

続く研究発表会では 8 編の研究課題が発表されました。水循環・水処理に関する研究開発、バイオガス技術の開発やその利用に関する研究成果など、資源循環に関する幅広い発表が行われました。

技術報告、発表課題、発表者はプログラムを参照ください。

また、研究発表については研究部会幹事による審査が行われ、最優秀の発表課題には資源循環研究部会長賞が授与されました。

本年度の部会長賞は、「バイオガスからの水素製造と地域におけるエネルギー利用」が選定され、高橋部会長から発表者の大久保 天さんに賞状と副賞が手渡されました。



研究発表 表彰式